



2023年3月期 (2022年4月1日～2023年3月31日) 決算説明会

2023年4月28日
日鉄ソリューションズ株式会社
代表取締役社長 玉置 和彦

 Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

社長の玉置です。本年4月1日付で、社長に就任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、本日はお忙しい中、決算説明会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日15：00 に発表した、決算の内容についてご説明いたします。

目次

■ 今回決算説明会のサマリー

■ I. 2023年3月期 実績

■ II. 2024年3月期 業績見通し

■ III. 2021-2025年度 中期事業方針の進捗

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2

本日の説明会のAgendaです。

今回決算説明会のサマリー

2023年3月期 実績	<ul style="list-style-type: none">● 売上・利益ともに見通しを上回り、過去最高を更新● 受注高、期末受注残についても過去最高
2024年3月期 業績見通し	<ul style="list-style-type: none">● 増収・増益の見通し● 顧客・マーケットの変化、中期戦略を踏まえ、売上収益区分を変更
株主還元	<ul style="list-style-type: none">● 期末配当 35円→40円（期末5円増配）● 来期は、年間80円を予定（年間5円増配）（中間40円、期末40円）

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3

まず最初に、今回決算説明会のサマリーをご説明します。

2023年3月期の実績は、公表値に対し、売上、利益ともに見通しを上回り、過去最高を更新しました。受注高、期末受注残についても過去最高です。

2024年3月期の業績見通しは、増収・増益の見通しです。
また、来期から、顧客・マーケットの変化、および当社の中期的な事業戦略を踏まえ、売上収益区分を変更いたします。
後ほど、ご説明します。

株主還元については、今期の期末配当を5円増配し、40円といたします。
来期、2024年3月期は、年間5円増配し、中間配当40円、期末配当40円の、年間80円を予定しております。



2023年3月期の実績をご説明します。

I -1. 連結決算業績 IFRS

単位：億円

	2022年3月期	2023年3月期	対前年		2023年3月期 見通し (2022/10/27)	対見通し	
	A	B	差異 B-A	増減率 (B-A)/A	C	差異 B-C	増減率 (B-C)/C
売上収益	2,703	2,917	+214	+8%	2,900	+17	+1%
売上総利益	604	659	+55	+9%	650	+9	+1%
売上総利益率	<22.4%>	<22.6%>	<+0.2%>		<22.4%>	<+0.2%>	
販売費及び一般管理費	300	330	+30	+10%	340	-10	-3%
その他損益	-5	-12	-6		0	-12	
営業利益	299	317	+19	+6%	310	+7	+2%
営業利益率	<11.1%>	<10.9%>	<-0.2%>		<10.7%>	<+0.2%>	
税引前利益	307	321	+14	+5%	315	+6	+2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	205	220	+15	+7%	211	+9	+4%

Copyright © 2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

2023年3月期の連結決算業績です。B欄をご覧ください。

売上収益は、2,917億円、対前年同期+214億円で、8%の増収となりました。

売上総利益は、659億円、
売上総利益率が22.6%と、対前年同期+0.2%改善し、
増収効果とあわせ、対前年同期+55億円増益となりました。

販管費は、（－）30億円増の330億円となりました。

その他損益、－12億円の太宗は、データセンターの減損損失によるものです。

結果、営業利益は、対前年同期+19億円増益の317億円で、+6%の増となりました。
当期利益は、対前年同期+15億円増益の220億円で、+7%の増となりました。

また、昨年10月末に修正した見通しに対しては、
売上収益は+17億円、営業利益は+7億円、当期利益は+9億円、上回りました。

I-2. サービス・顧客業種別売上収益 IFRS

単位：億円

	2022年3月期 A	2023年3月期 B	対前年差異 B-A	
	うち ITインフラ	うち ITインフラ	うち ITインフラ	コメント
業務ソリューション	1,456	1,568	+112	
産業・流通・サービス	762 <223>	785 <193>	+23 <-30>	運輸系で大型案件の反動減があるも、プラットフォームが堅調
金融	350 <98>	345 <92>	-5 <-5>	規制対応案件の落ち込みがあったものの、メガバンク・政府系が底堅くカバーし、前年並み
公共公益他	344 <53>	438 <40>	+94 <-12>	官公庁向け大型基盤構築案件が貢献
サービスソリューション	899	969	+69	
ITインフラ	352 <374>	389 <326>	+38 <-48>	クラウド事業を中心に増収
鉄鋼	547	579	+32	日本製鉄とグループ会社向けがともに好調
子会社等	348	380	+32	
合計	2,703	2,917	+214	
(参考) 日本製鉄向け	553	579	+26	
受注高	2,716	3,136	+420	

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6

続いて、年度の売上収益を、サービス・顧客業種別に、ご説明いたします。

業務ソリューションは、1,568億円で、+112億円の増収です。内訳は、

- ・産業・流通・サービスは、運輸系で昨年度の大型案件の反動減があったものの、プラットフォーム向けが堅調で、+23億円の増収となりました。
- ・金融は、22年3月期にあった規制対応案件の落ち込みがあったものの、メガバンク、政府系金融機関などの開発案件でカバーし、前年並みの－5億円となりました。
- ・公共公益他は、官公庁向けの大型基盤構築案件が貢献し、+94億円の増収となりました。

サービスソリューションは、969億円で、+69億円の増収です。内訳は、

- ・ITインフラはクラウド事業を中心に、+38億円、
 - ・鉄鋼は、日本製鉄とグループ会社がともに好調で、+32億円の増収となりました。
- なお、日本製鉄向けは、579億円で、+26億円でした。

受注高は、3,136億円で対前年同期+420億円の増、過去最高となりました。

このうち、公共公益他で+258億円の増となりました。

I -3. 連結決算業績(四半期別) IFRS

単位：億円

	2022年3月期				2023年3月期				対前年差異			
	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度
売上収益	1,308	648	747	2,703	1,347	721	849	2,917	+39	+73	+102	+214
売上総利益	288	152	164	604	304	162	193	659	+17	+10	+29	+55
売上総利益率	<22.0%>	<23.5%>	<22.0%>	<22.4%>	<22.6%>	<22.4%>	<22.7%>	<22.6%>	<+0.6%>	<-1.0%>	<+0.7%>	<+0.2%>
販売費及び一般管理費	148	72	80	300	165	79	86	330	+17	+7	+6	+30
その他損益	1	0	-7	-5	0	1	-13	-12	-1	+0	-6	-6
営業利益	142	80	77	299	140	83	94	317	-2	+3	+17	+19
営業利益率	<10.8%>	<12.3%>	<10.3%>	<11.1%>	<10.4%>	<11.5%>	<11.1%>	<10.9%>	<-0.4%>	<-0.8%>	<+0.8%>	<-0.2%>
税引前利益	145	81	81	307	142	84	95	321	-3	+2	+15	+14
親会社の所有者に帰属する当期利益	95	57	54	205	94	57	69	220	-1	+0	+15	+15

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

7

次に、2023年3月期の四半期別推移です。

第4四半期の売上収益は、849億円、対前年同期+102億円です。

売上総利益は、193億円、

売上総利益率が22.7%と対前年同期+0.7%改善し、

対前年同期+29億円増益となりました。

販管費は、（－）6億円増の86億円、

この結果

営業利益は+17億円増益の94億円となりました。

I -4. サービス・顧客業種別売上収益(四半期別) IFRS

単位：億円

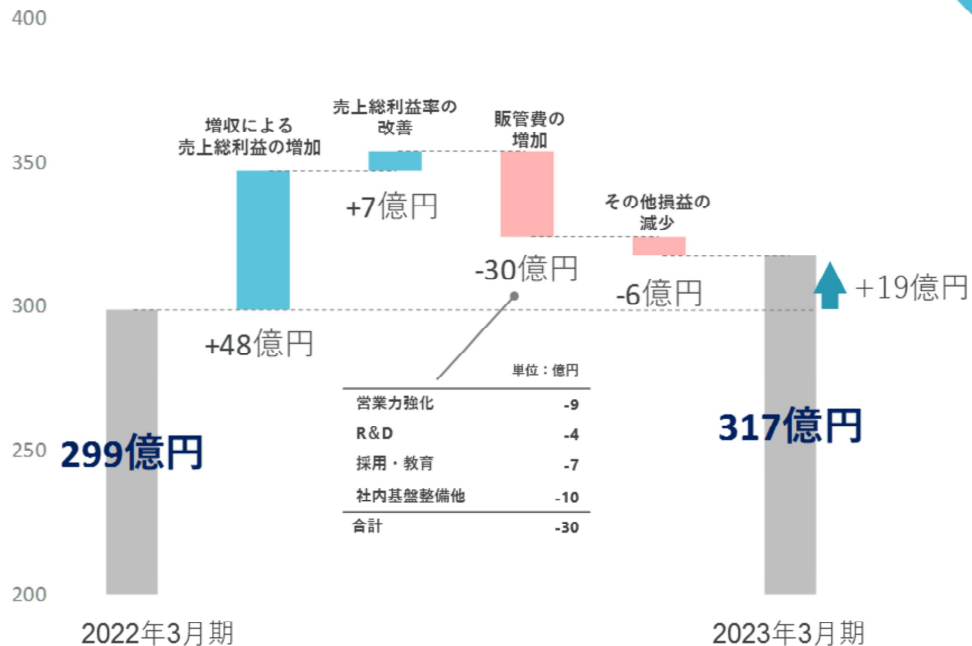
	2022年3月期				2023年3月期				対前年差異			
	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度	上期	3Q	4Q	年度
業務ソリューション	718	345	393	1,456	718	388	462	1,568	+0	+43	+69	+112
産業・流通・サービス	365	198	200	762	390	191	204	785	+25	-7	+4	+23
金融	192	77	81	350	164	87	95	345	-28	+9	+14	-5
公共公益他	161	70	113	344	164	110	163	438	+3	+40	+50	+94
サービスソリューション	437	219	243	899	462	243	263	969	+25	+25	+20	+69
ITインフラ	171	88	93	352	184	97	109	389	+13	+9	+15	+38
鉄鋼	267	131	150	547	278	147	154	579	+11	+16	+5	+32
子会社等	153	85	110	348	167	90	123	380	+14	+5	+13	+32
合計	1,308	648	747	2,703	1,347	721	849	2,917	+39	+73	+102	+214
(参考) 日本製鉄向け	266	138	148	553	277	147	155	579	+11	+8	+7	+26
期首受注残	1,226	1,233	1,102	—	1,238	1,459	1,349	—	+13	+227	+246	—

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8

サービス・顧客業種別の四半期別の推移です。参考までに、ご覧ください。

I -5. 連結営業利益分析 IFRS



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

9

連結営業利益の対前年同期の分析です。

営業利益は、前年同期299億円から+19億円増益の317億円となりました。

売上総利益は、増収による売上総利益額の増が、+48億円、
 売上総利益率は、電力料金の高騰などの外部要因によるマイナス影響があったものの、
 付加価値重視のオペレーションを徹底した結果、利益率の向上効果が上回り、+7億円となりました。

この結果、売上総利益は、+55億円の増となりました。

一方、販管費は、営業力強化、採用・教育、社内基盤整備他により、
 (－)30億円の増となりました。

また、その他損益が、主に減損の影響で、6億円のマイナスとなりました。

この結果、
 営業利益は、+19億円増益の317億円となりました。

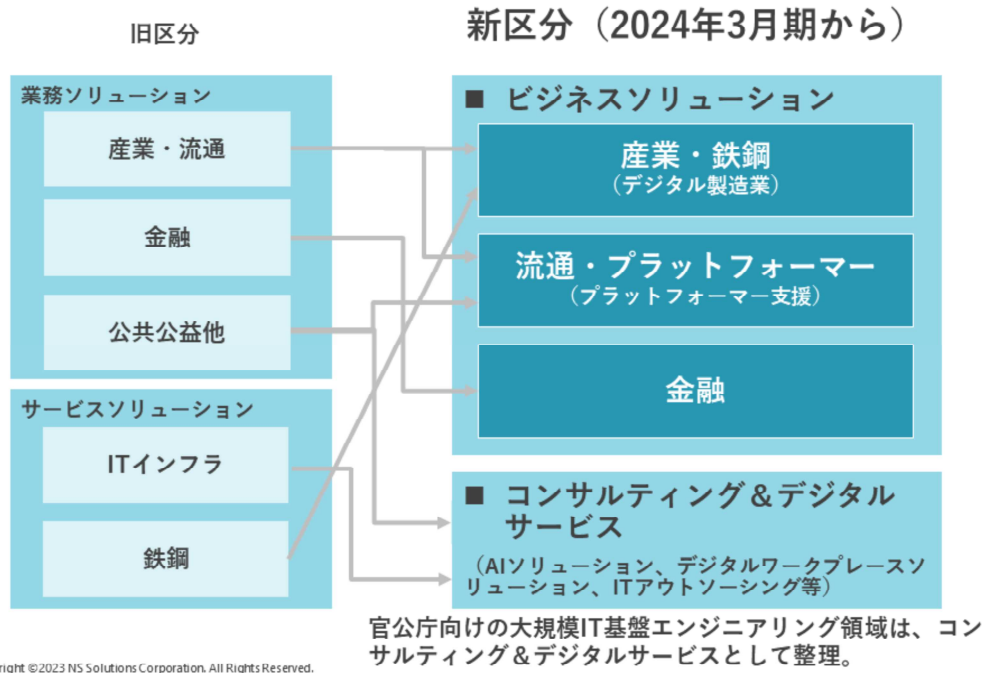


2024年3月期 業績見通し

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

次に、2024年3月期通期の、業績見通しをご説明いたします。

II-1. 2024年3月期からの区分変更について①



11

まず、業績見通しをご説明する前に、今期からの区分変更について、ご説明いたします。

2024年3月期から、顧客・マーケットの変化、および当社の中期的な事業戦略を踏まえ、従来の区分を、「ビジネスソリューション」と、「コンサルティング&デジタルサービス」に、変更いたします。顧客・業種カットのパーティカルな領域と、汎用性ある水平ソリューションカットのホリゾンタルな領域と、考えていただいても良いと思います。

旧区分と、2024年3月期からの新区分を比較しますと、ご覧の通りとなります。

ビジネスソリューションについては、新しい3区分といたします。

- ・日本製鉄向けを含め、主に製造業のデジタル化を担っている、産業・鉄鋼分野、これは、中期事業方針の「デジタル製造業」の領域を包含します。
- ・流通・小売業、デジタルプラットフォーム支援を担っている流通・プラットフォーム分野、これは、中期事業方針の「プラットフォーム支援」を包含します。
- ・および、金融分野、これらの3分野で構成いたします。

コンサルティング&デジタルサービスについては、ひと括りします。

旧区分のITインフラに、官公庁向けに提供してきた大規模なIT基盤エンジニアリング領域、および、AIソリューションなどのデジタルサービスを加え、コンサルティング&デジタルサービスとして整理します。

ここには、中期事業方針の注力領域であるデジタルワークスペースソリューションとITアウトソーシングを包含しています。

これらによって、中期事業方針での説明との連動が見え、分かりやすくご覧いただけるかと思います。

II-2. 2024年3月期からの区分変更について②

2023年3月期の新旧対照

単位：億円

旧区分(2023年3月期)		ウチ ITインフラ	新区分(2023年3月期)		
				ウチ コンサル デジタル	ウチ コンサル デジタル合計
業務ソリューション	1,568		ビジネスソリューション	1,833	
産業・流通・サービス	785 <193>		産業・鉄鋼	893 <152>	
金融	345 <92>		流通・プラットフォーム	595 <118>	
公共公益他	438 <40>		金融	345 <94>	
サービスソリューション	969		コンサルティング & デジタルサービス	703	364 1,068
ITインフラ	389 <326>				
鉄鋼	579				
子会社等	380		子会社等	380	
合計	2,917		合計	2,917	
(参考) 日本製鉄向け	579		(参考) 日本製鉄向け	579	

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

12

2023年3月期の実績を、旧区分と新区分で比較しますと、ご覧の通りとなります。

新区分をご覧ください。

ビジネスソリューションは、1,833億円となります。

コンサルティング & デジタルサービスは、703億円です。

コンサルティング&ビジネスサービスの703億円に、ビジネスソリューションとの連携、364億円を加えると、右端の「ウチ コンサル&デジタル合計」で、1,068億円の売上規模に相当することが、ご覧いただけたと思います。

II-3. 経営環境及びサービス・顧客業種別市場認識

経営環境	足元のIT投資は回復傾向。顧客のDXニーズの高まりからIT投資意欲は底堅い。一方、地政学リスクに伴うエネルギー価格の高騰、原材料価格の上昇、欧米の金融市場の不透明さなど、景気の下振れリスクを注視。	
サービス・顧客業種別市場認識	産業・鉄鋼	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業では、業績見通しの不透明感から、投資傾向はまだら模様 ● 日本製鉄向けでは、DXニーズを踏まえた各種情報システムへの投資意欲が旺盛
	流通・プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 流通・小売業では、一定の成長基調はあるものの、足元の景気不透明感に注視が必要 ● インターネット・プラットフォームでは、引き続きIT投資は堅調
	金融	<ul style="list-style-type: none"> ● メガバンク・政府系を中心に需要が底堅い ● 異業種による金融サービス参入ニーズも増
	コンサル&デジタルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド活用、汎用性の高いデジタルソリューションの引き合い、デジタル化支援ニーズが堅調 ● 半導体不足の影響によるHWの納期遅延は改善傾向

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

13

それでは、2024年3月期の経営環境、及びサービス・顧客業種別の市場認識です。

足元のIT投資は、引き続き回復傾向が継続しております。

お客様のDXニーズの高まりから、IT投資意欲は底堅い、と考えております。

一方、ウクライナ危機などの地政学リスクに伴うエネルギー価格の高騰、原材料価格の上昇、および欧米における金融市場の不透明さなど、景気の下振れリスクを注視する必要があります。

サービス・顧客業種別には、

- ・産業・鉄鋼は、製造業のDX投資意欲に積極さを感じるものの、業績見通しの不透明感から、成案化が遅れスモールスタートとなるなど、顧客によってIT投資はまだら模様です。
- ・日本製鉄向けでは、DXニーズは強く、IT投資は引き続き堅調です。
- ・流通・プラットフォームは、流通・小売業では一定の成長基調はあるものの、足元の景気不透明感に注視が必要です。
- ・当社が注力するネットプラットフォームでは、引き続きIT投資は堅調です。
- ・金融は、メガバンク・政府系を中心に需要が底堅く、異業種による金融サービス参入ニーズも増加しています。

コンサルティング&デジタルサービスは、

- ・クラウド活用、デジタルワークスペースソリューションをはじめ汎用性高いデジタルソリューションの引き合い、AIソリューション、デジタル化支援のニーズが堅調です。
- ・なお、半導体不足の影響によるHWの納期遅延は、一部を除き、改善傾向にあります。

II -4. 連結業績見通し IFRS

単位：億円

	2023年3月期 実績 A	2024年3月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (YoY) (B-A)/A
売上収益	2,917	3,050	+133	+5%
売上総利益	659	700	+41	+6%
売上総利益率	<22.6%>	<23.0%>	<+0.3%>	
販売費及び一般管理費	330	365	+35	+11%
その他損益	-12	0	+12	
営業利益	317	335	+18	+6%
営業利益率	<10.9%>	<11.0%>	<+0.1%>	
税引前利益	321	340	+19	+6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	220	228	+8	+4%
期首受注残	1,238	1,457	+219	+18%

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

14

2024年3月期の業績見通しです。B欄をご覧ください。

売上収益は、3,050億円で、前年度に対し、5%の成長で、+133億円の増収です。
売上総利益は、700億円で、+41億円の増益、売上総利益率は、23.0%で、
対前年+0.3%となります。

販管費は、（－）35億円の増です。

その他損益の改善は、主に今期の減損の戻りで、+12億円、

その結果、営業利益は、335億円、+18億円の増益です。

当期利益は、228億円で、+8億円の増益です。

なお、期首受注残は、1,457億円で、対前年同期比+219億円です。

II-5. サービス・顧客業種別売上収益 IFRS

単位：億円

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	
	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計	コンサル& デジタル	コンサル& デジタル合計
ビジネスソリューション	1,833		1,960		+127	
産業・鉄鋼	893	<152>	945	<170>	+52	<+18>
流通・プラットフォーム	595	<118>	655	<120>	+60	<+2>
金融	345	<94>	360	<110>	+15	<+17>
コンサルティング & デジタルサービス	703	364	680	400	-23	+36
子会社等	380		410		+30	
合計	2,917		3,050		+133	
(参考) 日本製鉄向け	579		610		+31	

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

15

売上収益を、サービス・顧客業種別にご説明します。

ビジネスソリューションは、1,960億円で、+127億円です。

内訳は、

産業・鉄鋼は、日本製鉄向けが堅調で、その他製造業をけん引し、+52億円、
流通・プラットフォームは、プラットフォーム向けが引き続き堅調で、+60億円、
金融は、メガバンク・政府系向けを中心に底堅く、+15億円です。

コンサルティング&デジタルサービスは、680億円で、
官公庁向け大型基盤構築案件の反動減から、-23億円です。
但し、ビジネスソリューションとの連携である400億円を加えると、
コンサル&デジタルの合計は1,080億円の売上規模となり、
対前年+13億円となります。

子会社等は410億円で、+30億円です。

なお、日本製鉄向けは、対前年+31億円の、610億円となります。

II-6. 連結業績 見通し | 上下別 IFRS

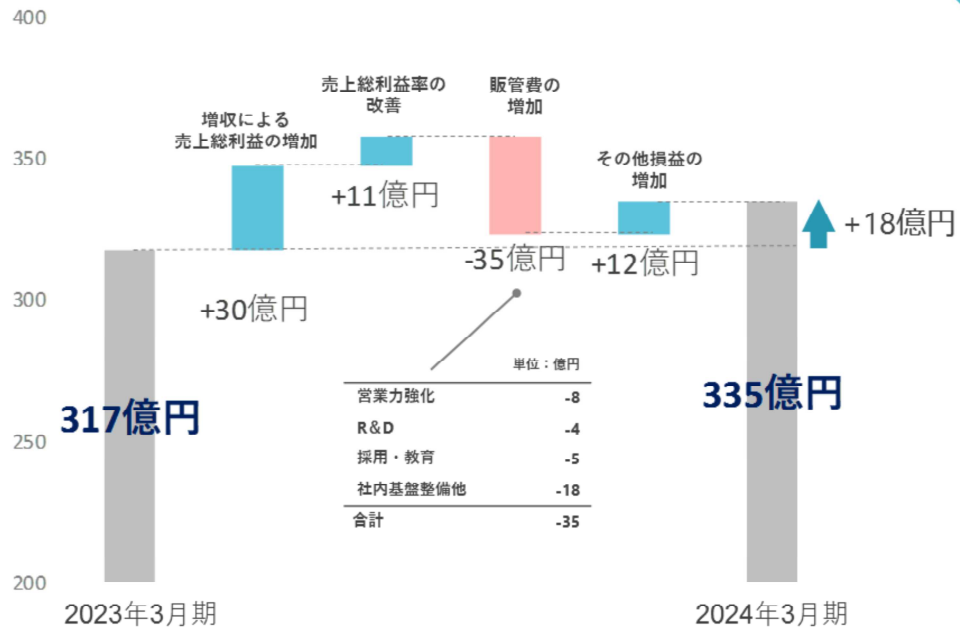
	2023年3月期		2024年3月期		増減額		増減率	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上収益	1,347	1,570	1,400	1,650	+53	+80	+4%	+5%
売上総利益	304	355	320	380	+16	+25	+5%	+7%
売上総利益率	<22.6%>	<22.6%>	<22.9%>	<23.0%>	<+0.3%>	<+0.4%>		
販売費及び一般管理費	165	165	180	185	+15	+20	+9%	+12%
その他損益	0	-12	0	0	0	+12		
営業利益	140	177	140	195	0	+18	0%	+10%
営業利益率	<10.4%>	<11.3%>	<10.0%>	<11.8%>	<-0.4%>	<+0.5%>		
税引前利益	142	179	142	198	0	+19	0%	+11%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	94	126	94	134	0	+8	0%	+7%
期首受注残	1,238	1,459	1,457		+219		+18%	

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

16

2024年3月期の上下別の見通しです。参考までにご覧ください。

II -7. 2024年3月期 連結営業利益分析 IFRS



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

17

連結営業利益の対前年同期の分析です。

営業利益は、前年同期317億円から、+18億円増益の、335億円となります。

売上総利益は、
増収による売上総利益額の増が、+30億円、
売上総利益率の改善+0.3%を見込み、+11億円
となり、この結果、売上総利益は+41億円となります。

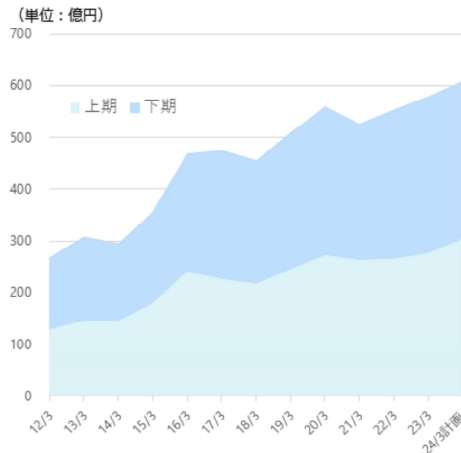
一方、販管費は、従来からの人材投資、研究開発投資に加え、
トランスフォーメーション推進センターを本年1月に設置し、
社内DXを加速させること等から（－）35億円の増です。

これに、その他損益の改善+12億円があり、

これらの結果、営業利益は、+18億円増益の335億円です。

II-8. 日本製鉄対応

1. 日本製鉄向け売上の推移



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2. 取り組み内容

データとデジタル技術を駆使して、業務プロセス改革・生産プロセス改革を推進

- ・統合データ解析・AI開発プラットフォーム「NS-DIG」
- ・無線センサ利活用プラットフォーム「NS-IoT」
- ・経営情報・KPIのリアルタイム把握、アクション統合データプラットフォーム「NS-Lib」
- ・(社)データマネジメント・コンソーシアム主催「データマネジメント2023」にて「データマネジメント大賞」を日本製鉄が受賞。

日本製鉄向け売上 (2024年3月期見通し)

2023年3月期	2024年3月期	増加額
579億円	610億円	+ 31億円

日本製鉄対応をご説明いたします。

日本製鉄では、2021年3月に発表した中長期経営計画の柱の一つとしてデジタルトランスフォーメーション戦略の推進を掲げました。

当社は、このDX推進の中核パートナーとして、その対応を着実に進めており、データとデジタル技術を駆使した業務プロセス改革・生産プロセス改革の推進の一翼を担っております。

当社が開発に携わった、

- ・統合データ解析・AI開発プラットフォーム「NS-DIG」、
- ・無線センサ利活用プラットフォーム「NS-IoT」、
- ・経営情報、KPIをリアルタイムに把握し、的確なアクションを可能とする、統合データプラットフォーム「NS-Lib」の導入等により、

日本製鉄は、

一般社団法人データマネジメント・コンソーシアム主催「データマネジメント2023」にて、「データマネジメント大賞」を受賞しました。

日本製鉄向けの2024年3月期の売上は、2023年3月期の579億円から+ 31億円増の、610億円を見込んでおります。

II -9. 配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し、連結配当性向30%を目安といたします。

1 株当たり年間配当金の計画

2023年3月期（通期）

70円→75円

連結配当性向31.2%

中間配当：35円、期末配当35円→40円

2024年3月期（通期）

80円

連結配当性向32.1%見通し

中間配当：40円、期末配当40円（予定）

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

19

配当方針をご説明いたします。

2023年3月期の年間配当額については、
期末配当を5円増配し、35円から40円に引き上げることといたしました。
この結果、年間で、70円から75円となります。

2024年3月期の年間配当予定額については、
2023年3月期に対し、年間5円増配の、80円を予定しております。



次に、中期事業方針の進捗についてご説明させていただきます。

III-1. 中期事業方針の進捗

	2022年度累計 (～2022)	中期事業期間 (2021～2025)
連結売上成長率 (CAGR)	8%	5～6%
注力領域売上成長率 (CAGR)	14%	10%以上
事業基盤強化投資	281億円	500～750億円 (100～150億円/年)
DX加速投資	65億円	100～150億円 (20～30億円/年)

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

21

中期事業方針の進捗です。

2022年度までの累計で、
連結売上成長率はCAGR8%と、
中期事業方針のCAGR5～6%を上回りました。

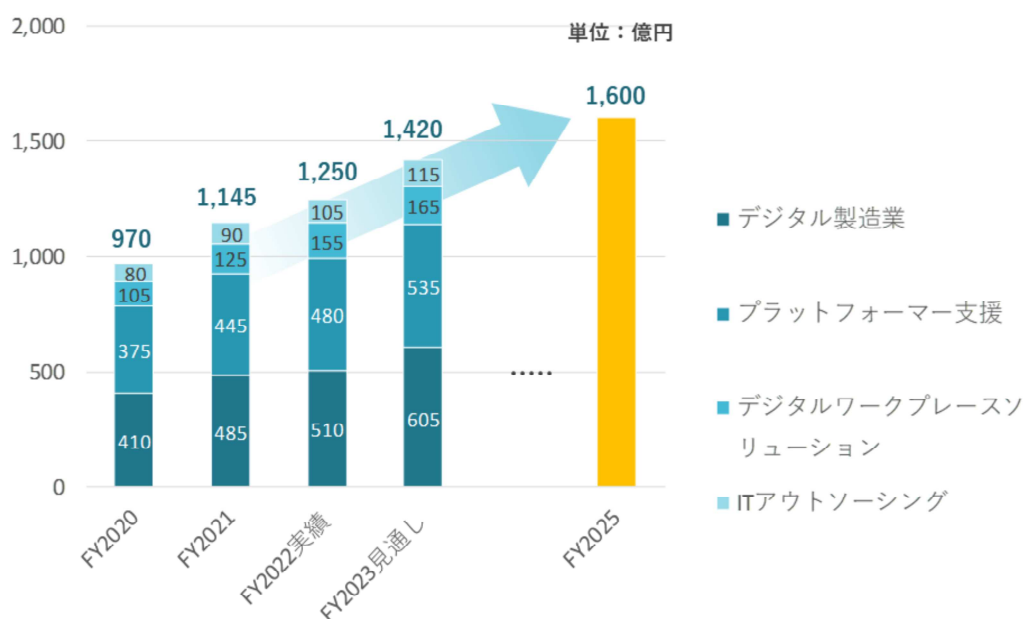
また、注力領域売上成長率はCAGR14%と、
中期事業方針のCAGR10%以上を、上回りました。

事業基盤強化投資は、累計で281億円を実行しました。

DX加速投資は、累計で65億円を実行しました。

いずれも順調に推移しております。

III-2. 注力領域の進捗



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

22

注力領域の進捗です。

2022年度の注力領域の売上収益は1,250億円で、
2020年度の970億円から、年率14%の伸びと、計画に沿って順調に成長してきました。

足元、2023年度の注力領域の売上見通しは1,420億円であり、
2025年度の注力領域の売上収益1,600億円に向けて順調に推移しております。

2023年度は、

- ・デジタル製造業領域では、日本製鉄向けで培ったデータ利活用領域を中心にビジネス展開を図ります。
 - ・プラットフォーム支援では、引き続き旺盛なIT投資意欲に対応すべく、リソースシフトや外部成長施策を推進するなど対応力を拡充します。
 - ・デジタルワークスペースソリューションでは、ソリューション群の更なる拡充・強化をしてまいります。
 - ・ITアウトソーシングでは、マルチクラウドをはじめとするIT環境の複雑化や要求水準の高度化に対応し、
- インフラ運用のあるべき姿を描くデザイン力、運用におけるITガバナンス強化に取り組んでまいります。

III-3. 成長に向けた投資

項目	主な内容
事業基盤強化投資	<ul style="list-style-type: none">・ IT環境整備・ プライベートクラウド等への投資
DX加速投資	<ul style="list-style-type: none">・ DX人材の集中的な育成・ 新規ソリューション開発<ul style="list-style-type: none">－ 統合データマネジメントプラットフォーム「DATAOPTERYX」－ 金融機関向けクラウド活用最適化サービス「FINARCH」－ 従業員エンゲージメント・キャリアリフレクションツール「なやさぼ」
M&A等の投融資	<p>DX推進、注力領域の成長加速、生産構造強化を狙った投資</p> <ul style="list-style-type: none">・ DX組織能力の強化・ 開発・運用リソースの拡充・ 市場シェアの拡大・ 新市場への参入

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

23

成長に向けた投資についてご説明いたします。

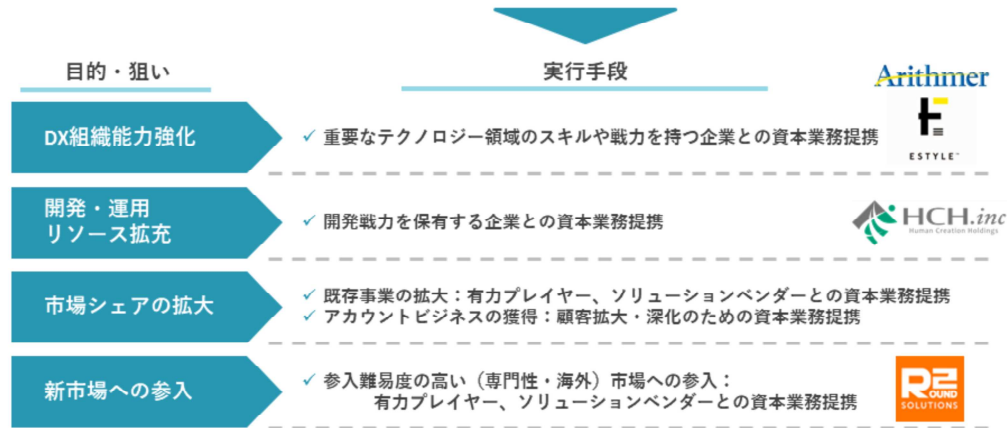
事業基盤強化投資では、IT環境整備、プライベートクラウド等への投資を行っております。

DX加速投資では、DX人材の集中的な育成を行うとともに、新規領域・新規事業へのチャレンジ促進を図るべく、新規ソリューション開発を実行しております。

M&A等の投融資については、次のページで、ご説明いたします。

III-4. 成長に向けた投資～外部成長の促進～

DX推進、注力領域の成長加速、生産構造強化を狙った、
外部リソースの取り込みによる成長の加速



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

24

当社は、DX推進、注力領域の成長加速、生産構造強化を狙って、
外部リソースの取り込みによる成長の加速を図っております。

DX組織能力の強化では、
重要なテクノロジー領域のスキルや戦力を持つ企業との資本業務提携を進めます。
2022年度は、高度な数理AI技術を持つArithmer社、
データサイエンスでの高いコンサル力、技術知見を有するエスタイル社に出資しました。

開発・運用リソースの拡充では、
開発戦力を保有する企業との資本業務提携を進めます。
2022年度は、開発・運用に関わるDX人材を豊富に有するヒューマン・クリエイション・ホールディングス社
に出資しました。

市場シェアの拡大では、
・既存事業においては、有力プレイヤー、ソリューションベンダーとの資本業務提携、
・アカウトビジネスの獲得においては、顧客拡大・深化のための資本業務提携を進めます。

新市場への参入では、
高度な専門性や海外市場といった参入難易度の高い市場への参入において、同じく、有力プレイヤー、
ソリューションベンダーとの資本業務提携を図ります。
2022年度は、東南アジア地域で大手製造業を中心に、コンサルティングやSAP導入サービスを提供する
、ラウンド・ツー・ソリューション社に出資しました。

引き続き、積極的に外部成長の促進に努めてまいります。

III-5.（参考）成長に向けた投資～実績～

<div>DX組織 能力強化</div> <div>Arithmer</div> <div>特徴・強み</div> <p>数学の要素技術をベースに、社会課題を解決する最先端AIエンジンを開発</p> <div>出資の目的</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 数値AI技術を活かした顧客のDXニーズへの対応 ● 数理的アプローチによるAI技術の研究開発加速 	<div>DX組織 能力強化</div> <div>ESTYLE™</div> <div>特徴・強み</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 高いコンサルティング力と技術知見 ● 独自の教育による優秀なデータサイエンティストの育成・輩出 <div>出資の目的</div> <ul style="list-style-type: none"> ● データ活用領域でのコンサルティング力と技術知見の向上 ● データ活用人材の育成
<div>新市場 への参入</div> <div>R2 GUND SOLUTIONS</div> <div>特徴・強み</div> <p>大手製造業を中心に、コンサルティング・SAP導入等のサービスを提供しているタイのSAPプロバイダ</p> <div>出資の目的</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 日系企業の顧客へのSAPソリューション提供 ● 東南アジア等へのシステムロールアウト需要への対応 	<div>DX組織 能力強化</div> <div>開発・運用 リソース拡充</div> <div>HCH.inc Human Creation Holdings</div> <div>特徴・強み</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業のDXを担う人材リソースを豊富に抱える ● 幅広いプロジェクト業務に従事、国内全国に事業展開 <div>出資の目的</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 当社プロジェクトへのDX人材の参画 ● 知見・サービスの活用による新たな事業機会の創出

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

25

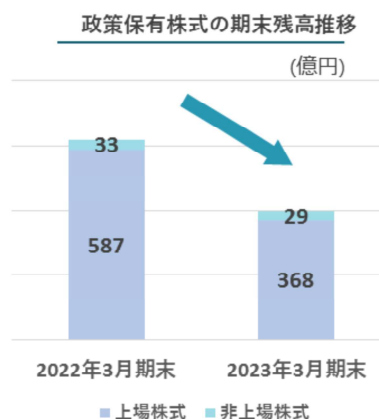
こちらのページは、参考に、ご覧ください。

III-6. 成長に向けた投資～資金の確保～

2022年4月に開示した「成長投資の資金確保に向けた政策保有株式の売却予定金額設定に関するお知らせ」の通り、成長投資の原資とすることを目的に、政策保有株式の売却を進めております。

政策保有株式の状況

2023年3月期末時点における当社が保有する上場株式は368億円、非上場株式は29億円となりました。



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

26












成長に向けた投資について、資金の確保の状況をご説明します。

当社では、2022年4月にお知らせの通り、成長投資の原資とすることを目的に、2025年度までに200億円の売却枠を設定し、政策保有株式の売却を進めております。

2023年3月期末時点における、当社が保有する上場株式は、368億円、非上場株式は、29億円となりました。

III-7. サステナビリティ経営の取組み

パーパスに基づくサステナビリティ経営を推進。昨年10月、統合報告書を発行。

マテリアリティ	主な取組み	主なSDGs
・ITを通じた社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・新薬開発のスピードアップに資するAI、データサイエンスを活用した統合データ利活用基盤の構築 ・IoTデバイスを用いて作業の安全管理に貢献 ・10年連続市場シェアNo.1の仮想デスクトップ環境「M3DaaS」の提供により、リモートワークをセキュリティ高く快適に ・電子契約サービスCONTRACTHUBによるペーパーレス化への貢献 	   
・社会インフラとしてのITサービス安定供給	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドネイティブ等先端技術を適用した堅牢で効率的なITサービスの提供 	
・多様な人材が活躍できる場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹職役割給、65歳定年制、兼業・副業制度の導入 ・遠隔地在宅勤務を可能とするリモートワーク拡充 ・エンゲージメントサーベイと職場対話のPDCAサイクル化 ・女性活躍（プラチナくるみん）、LGBTQ+（PRIDEゴールド） ・人権方針、マルチステークホルダー方針の策定 ・NSSOLアカデミーによる自律的な学びの場、中核人材の育成 	  
・環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・高エネルギー効率のデータセンターによるクラウドサービスの提供 ・環境マネジメントシステムの範囲拡大、グリーン電力の導入、温室効果ガススコープ3の算定 	 
・信頼される社会の一員としてのガバナンス/コンプライアンス追求	<ul style="list-style-type: none"> ・NSSOLグループ行動規範「グローバル・ビジネス・コンダクト」の徹底 ・リスクマネジメント体制の強化 	

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

27

最後になります。

当社は昨年4月から、新たに定めたパーパスに基づくサステナビリティ経営を推進しております。

昨年10月には、当社として初めての統合報告書を発行いたしました。

その中で、

パーパスに基づくマテリアリティを踏まえた価値創造プロセスのほか、
人的資本、環境、ガバナンスといった情報開示に積極的に取り組んでおります。

詳しくは、ホームページに掲載しております統合報告書をご参照いただければと思います。

ご説明は以上となります。

主要ニュース・プレスリリース

2023年1月27日	CONTRACTHUB@absonne、電子取引ソフト法的要件認証取得のお知らせ
2023年2月2日	筑波大学と1500人以上の社会人を対象に「働く悩み」についての共同調査を実施 ～「上司や上長に対する悩み」全体の40%が抱えたことがあることが明らかに～
2023年2月3日	大学生向け返済不要の給付型奨学金に対して資金支援を実施
2023年2月7日	ヒューマンクリエイションホールディングス社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ
2023年3月7日	「Innovative Partner of the Year (APAC) 2022」を受賞
2023年3月13日	データ分析世界大会“Kaggle”でGold Medal獲得 ～アメフトの試合映像から選手のけがの危険性を検知する「1st and Future - Player Contact Detection」で939チーム中第9位に入賞～
2023年3月22日	キャリアリフレクションツール「なやさば」プロダクトデザインをリニューアル
2023年3月28日	トンネル工事現場にローカル5G活用 バーチャル空間での360度ライブストリーミングにより遠隔地からリアルタイムで施工状況の確認を実現
2023年4月6日	【富士キメラ総研調べ】国内DaaS市場で仮想デスクトップサービス「M²DaaS」が10年連続シェア1位を獲得
2023年4月18日	世界No.1のDataRobot販売代理店として「Top Reseller Partner Award WorldWide」を受賞 ～あわせて個人賞「Partner of the Year」を6年連続受賞～
2023年4月20日	「東京レインボープライド2023」に協賛
2023年4月27日	教育現場のDX目指し、学校事務システム定額利用サービス「CampusSquare S Edition」を提供開始 ～100校以上のシステム支援の実績の下、契約から最短3か月でクイックに導入～



ともに未来を考え
社会の新たな可能性を
テクノロジーと情熱で切り拓く

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

29